

S eeds

自動車の「気持ちよいハンドリング性能」の力学的設計技術

Keywords ハンドリング性能, ステアリング, タイヤ, サスペンション

01 本研究の適用分野・用途

- 完成車メーカーにおける操縦安定性設計
- パワーステアリング
- サスペンションブッシュ
- エンジンマウント
- シート
- タイヤ

02 アピールポイント

- 「腰で感じる車両運動」の設計法
- 「手で感じるハンドルからの力」「手で感じるハンドルの動き」の設計法
- 目で感じる車体の動きの設計法
- テストドライバの官能評価結果の文学的表現の力学表現への変換

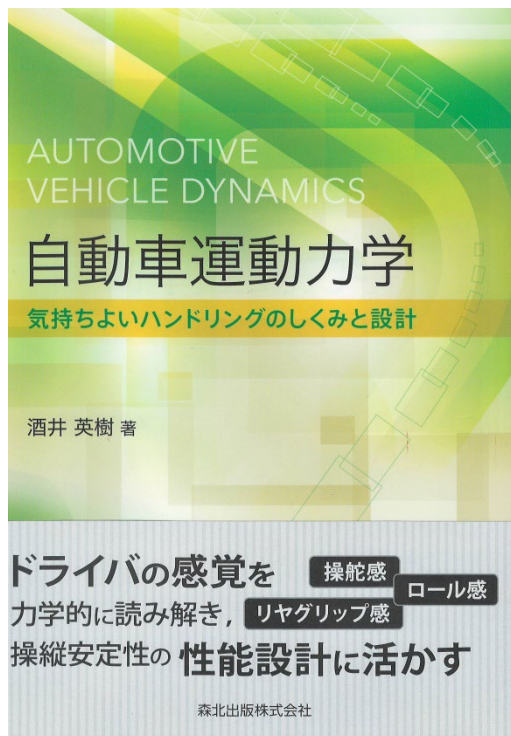
研究概要

背景

自動車のハンドリング性能は感性領域で他車と競合

本技術の特徴

- (1)ドライバの感性性能をフィールド調査(試乗場面調査と直接試乗評価).
- (2)ドライバの感じる物理変数で運動方程式を立てることにより,ドライバの感覚を力学に変換.
- (3)完成車メーカー, サプライヤーにおいて本技術を実践・実証



ドライバの感覚を **操舵感** **ロール感**
 力学的に読み解き, **リヤグリップ感**
 操縦安定性の **性能設計**に活かす

森北出版株式会社



KINDAI
UNIVERSITY

近畿大学工学部
(広島キャンパス)

ロボティクス学科

准教授 酒井英樹 (さかいひでき)

